

第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）

トライアスロン競技日本代表選手・選考基準設定の概況と目的

公益社団法人 日本トライアスロン連合（以下、「JTU」）は、JTU 定款第 4 条（事業）第 1 項 3 号により、第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）（以下、「東京 2020 大会」）トライアスロン競技の日本代表選手・選考基準（以下、「本基準」）を策定する。

本基準は、国際トライアスロン連合（以下、「ITU」）の定める出場資格システムに基づき、東京 2020 大会・トライアスロン競技男子個人種目、女子個人種目及びミックスリレー種目でもっとも活躍が期待できる選手の選考を行い、最高の成果をあげることを目的とする。

開催国である日本は、ITU の定める出場資格を満たしていることを前提に男女各 2 名（計 4 名）及びミックスリレー（1 チーム）の出場枠を有している。そのため、JTU は国別出場の最大男女各 3 枠獲得（合計 6 名）を目指しながら、代表選手を選出することとする。

東京 2020 大会での目標は、いずれもメダル獲得を目指すものとする。ただし、現在までの国際競技力の情勢から次の優先順で目標を設定し、ベストパフォーマンスを達成する。

- ・ 個人種目に出場する選手で構成するミックスリレー（男女各 2 名）は、2018 年 12 月 26 日現在、ITU ミックスリレーオリンピック出場資格ランキングで 7 位であり、出場予想が 15 チーム前後であることから、3 位以内（メダル獲得）の実現に向かい、8 位以内を確保する。
- ・ 女子個人種目は、現在 ITU 個人オリンピック出場資格ランキング 30 位以内が 2 名であることから、目標を 3 位以内とし、レース展開により 8 位以内確保を目指す。
- ・ 男子個人種目は、現在 ITU 個人オリンピック出場資格ランキング 30 位以内が 0 名、140 位以内が 3 名であることから目標を 8 位以内とし、レース展開により 12 位以内確保を目指す。

第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）

トライアスロン競技日本代表選手・選考基準

〔1〕 選考・競技の実施概要

1) 選考基準適用の対象期間	2019 年 5 月 11 日（土）～2020 年 5 月 11 日（月）
2) オリンピック競技会場 （スタート・フィニッシュ）	東京都港区 お台場海浜公園（全種目共通）
3) 開催日・競技種目 （オリンピックトライアスロン競技）	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 年 7 月 27 日（月）男子・個人決勝 ・2020 年 7 月 28 日（火）女子・個人決勝 ・2020 年 8 月 01 日（土）ミックスリレー・決勝（男女各 2 名）

[2] 出場枠と出場資格

1) 出場枠 (個人種目・ミックスリレー)	男女各 3 名迄 (開催国に男女各 2 枠が自動的に与えられる)
2) 出場資格	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有し、公益財団法人日本オリンピック委員会 (以下、「JOC」) の派遣基準を満たしていること。 ・ITU 個人オリンピック出場資格ランキング (2020 年 5 月 11 日時点) が 140 位以内であること。

[3] 選考対象大会と評価 (男女共通)

1) 選考対象大会

① ITU オリンピック・クオリフィケーションイベント (2019 年 8 月/東京) (以下、「東京 OQE」)
*スタンダードディスタンス (以下、「STD」)

② ITU 世界トライアスロンシリーズ (以下、「WTS」) (2 大会)

a) 2019 年 7 月: ハンブルグ WTS (ドイツ) *スプリントディスタンス (以下、「SP」)

b) 2020 年 3 月: アブダビ WTS (アラブ首長国連邦) *SP

*特例: 前述 1) ①、②の 3 大会において、開催中止等 (詳細 [3] 3) 参照) があつたときは、
「バミューダ WTS (2020 年 4 月)」を女子の選考対象大会とすることがある。

*選考対象大会の評価条件

本基準で適用する出場選手から大会のレベルを算出するクオリティオブフィールド係数基準 (以下、「QF 係数」) 及び大会の定員に対する出場率 (80%を基本とする * 予選・決勝形式の場合は決勝進出人数) により、大会の高低を評価する。

2) 選考方法と評価

①第 1 優先候補

東京 OQE 1 位～ 3 位の最上位 1 名を選出する。

②第2優先候補

次のいずれかを満たす者から、QF係数を適用した順位の順に出場枠に達するまで選出する。

- a) 東京 OQE 6位以内（前述の①を除く）
- b) ハンブルグ WTS 1位～6位
- c) アブダビ WTS 1位～6位

③第3優先候補

次のいずれかを満たす者から、QF係数を適用した順位の順に出場枠に達するまで選出する。

- a) 東京 OQE 7位～9位
- b) ハンブルグ WTS 7位～9位
- c) アブダビ WTS 7位～9位

④第4優先候補

次のいずれかを満たす者から、後述の「評価項目」の順に判断して、出場枠に達するまで選出する。

- a) 東京 OQE 10位～12位
- b) ハンブルグ WTS 10位～12位
- c) アブダビ WTS 10位～12位

⑤第5優先候補

次のいずれかを満たす者から、後述の「評価項目」の順に判断して、出場枠に達するまで選出する。

- a) 東京 OQE 13位～16位
- b) ハンブルグ WTS 13位～16位
- c) アブダビ WTS 13位～16位

<評価項目>

- 第1評価基準：スタンダードディスタンス（以下、「STD」）ではスイムの第1集団、又はスイムトップから20秒以内でスイムフィニッシュしていることを指標とする。スプリントディスタンス（以下、「SP」）ではスイムの第1集団、又はスイムトップから15秒以内でスイムフィニッシュしていることを指標とする。
- 第2評価基準：STDではバイクの第1集団、又はバイクフィニッシュトップから30秒以内でフィニッシュしていることを指標とする。SPではバイクの第1集団、又はバイクフィニッシュトップから20秒以内でフィニッシュしていることを指標とする。
- 第3評価基準：総合トップタイムから2.5%以内でフィニッシュしていることを指標とする。
- 第4評価基準：ラントップタイムから2.5%以内のタイムを指標とする。
- 第5評価基準：評価項目に当てはまらないときは、QF係数を適用した順位の上位を選出する。

⑥第6優先候補

前述①から⑤で選出に至らないときは、次の a) b) c) d) e) f)大会（優先順なし）から、「個人種目の順位」、「リレー評価項目」、前述の「評価項目（第5評価基準は除く）」を総合的に判断して、出場枠に達するまで選出する。

<男女共通対象大会>

- a) ITU 世界トライアスロンミックスリレーシリーズ（以下、「MRS」）（出場選手）
- ・2019年6月：ノッティンガム MRS（イギリス）
 - ・2019年7月：ハンブルグ ITU 世界トライアスロンミックスリレー選手権（ドイツ）
 - ・2019年7月：エドモントン MRS（カナダ）
 - ・2019年8月：東京 MRS（日本）
 - ・2020年3月：アブダビ MRS（アラブ首長国連邦）

<女子対象大会>

- b) WTS（16位以内）
- ・2019年5月：横浜 WTS*STD（日本）
 - ・2019年6月：リーズ WTS*STD（イギリス）
 - ・2019年6月：モントリオール WTS*SP（カナダ）
 - ・2019年7月：エドモントン WTS*SP（カナダ）
 - ・2019年9月：ローザンヌ WTS グランドファイナル*STD（スイス）
 - ・2020年4月：バミューダ WTS*STD（バミューダ諸島）
- c) 前述1)の選考対象大会3大会（20位以内）
- ・2019年8月：東京 OQE
 - ・2019年7月：ハンブルグ WTS
 - ・2020年3月：アブダビ WTS

<男子対象大会>

- d) ASTC アジアトライアスロンミックスリレー選手権（出場選手）
- ・2019年6月：アジアトライアスロンミックスリレー選手権（韓国・慶州）
 - ・2020年5月：アジアトライアスロンミックスリレー選手権（日本・廿日市）
- * ASTC：アジアトライアスロン同盟
- e) ITU トライアスロンワールドカップ（以下、「W杯」）（9位以内）
- ・2019年5月：成都・チェンドゥ W杯（中国）*予選 SP/決勝 SSP
 - ・2019年6月：ウアトルコ W杯（メキシコ）*SP
 - ・2019年7月：ティサウイパローシュ W杯（ハンガリー）*予選 SP/決勝 SP
 - ・2019年9月：パニョレス W杯（スペイン）*SP
 - ・2020年5月：成都・チェンドゥ W杯（中国）*SP

f) JTU 男子ミックスリレー特別大会（以下、「2020 男子特別大会」）（5 位以内）

- ・2020 年 2 月：2020 男子特別大会（日本・宮崎）＊SSP
- ・2020 年 4 月：2020 男子特別大会（日本・宮崎）＊SSP

<リレー評価項目>

- ・STD(スタンダード)よりも SP(スプリント)及び SSP (スーパースプリント) を重視。
 - ・ウェットスーツ着用禁止でのスイムを重視。
 - ・ミックスリレーに適応できる競技力（以下、各走者に特筆して求められる能力は次のとおりとする）。
- * 凡例：◎最重要、○重要、△必要

	第1集団 維持力	ギャップを埋め るスイム力	スピード変化 の対応力	独走力	トランジション 能力	安定力	フィニッシュ スプリント力
第1走	◎	—	—	△	◎	◎	○
第2走	◎	◎	○	○	◎	○	○
第3走	△	○	◎	◎	◎	○	○
第4走	△	○	◎	◎	◎	◎	◎

3) 対象大会で次のことが発生した場合は、状況を分析し別に審議する。

- a)大会が、開催前、開催期間中、競技中に中止されたとき。（競技の中止）
- b)ITU 基準によるトライアスロンのスイム、バイク、ランのいずれかの距離が短縮されたとき。（距離フォーマットの変更）
- c)大会がデュアスロン又はアクアスロンになったとき。（競技フォーマットの変更）
- d)レース中の予期せぬ事故や上位選手の失格などで順位の変動があったとき。（順位の変動）
- e)その他、競技結果を左右する特別な状況（荒天や出場選手レベルの大幅な低下など）があるとき。（特別な状況）

[4] 選考に係る手順

- 1) オリンピック対策チームは、2020年5月中旬に決定する国別代表枠決定の後、この選考基準に定めるすべての対象記録を評価し、2020東京オリンピック競技大会・トライアスロン競技代表選手選考委員会（以下、「東京2020選考委員会（仮称）」）に推薦選手（入替候補選手含む）を提出する。
- 2) 東京2020選考委員会は、推薦選手を審査（2020年5月14日予定）する。
- 3) JТУ理事会（2020年5月15日予定）の承認を得て、JOCに提出する。
- 4) JOCは、派遣手続（ドーピング検査、メディカルチェック等）を経て、日本代表選手としての適性等を判断し、最終承認を行う。

[5] 留意事項

- 1) 本基準は、大会開催の状況、関連基準の変更・関係各団体との調整などにより、変更されることがある。ただし、その場合は速やかに公示するものとする。
- 2) 選考対象大会は、情報戦略医科学委員会等を中心に記録・分析を行い、東京2020大会選考委員会及び理事会に報告する。
- 3) 入れ替え候補選手（補欠選手）は、男女各1名を本基準に従って選出する。
- 4) ミックスリレー出場選手は代表選手の中から、東京2020大会のリレー競技説明会までにオリンピック対策チームで審議の上、決定し理事会が承認する。
- 5) JТУは、指定のメディカルチェックを要請することがある。

* 東京2020大会 トライアスロン競技概要

<https://tokyo2020.org/jp/games/sport/olympic/triathlon/>

* ITU オリンピック出場資格システム

https://www.triathlon.org/uploads/docs/FINAL_-_2018-03-19_-_Tokyo_2020_-_Qualification_System_-_Triathlon_-_eng....pdf

* ITU 個人オリンピック出場資格ランキング基準

https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_2018-individual-oq-ranking_20171210.pdf

* ITU ミックスリレーオリンピック出場資格ランキング基準

https://www.triathlon.org/uploads/docs/itusport_2018-mixed-relay-oq-ranking_20171210.pdf

2019・2020 対象大会スケジュール一覧（2019/12/6 時点案）

ITU オリンピック・クオリフィケーションイベント（東京 OQE）		
2019年8月15日-8月16日	東京 OQE・日本	STD
ITU 世界トライアスロンシリーズ（WTS）		
2019年5月18日-5月19日	横浜 WTS（日本）	STD
2019年6月8日-6月9日	リーズ WTS（イギリス）	STD
2019年6月28日-6月29日	モントリオール WTS（カナダ）	SP
2019年7月6日-7月7日	ハンブルグ WTS（ドイツ）	SP
2019年7月20日-7月21日	エドモントン WTS（カナダ）	SP
2019年8月29日-9月1日	ローザヌ WTS グランドファイナル（スイス）	STD
2020年3月6日	アブダビ WTS（アラブ首長国連邦）	SP
2020年4月18日-4月19日	バミューダ WTS（バミューダ諸島）	STD
ITU 世界トライアスロンミックスリレーシリーズ（MRS）		
2019年6月15日-6月15日	ノッティンガム MRS（イギリス）	SSP
2019年7月7日-7月7日	ハンブルグ世界選手権（ドイツ）	SSP
2019年7月20日-7月21日	エドモントン WTS（カナダ）	SSP
2019年8月18日	東京 MRS（日本）	SSP
2020年3月7日	アブダビ MRS（アラブ首長国連邦）	SSP
ITU トライアスロンワールドカップ（W杯）		
2019年5月11日-5月12日	成都・チエンドウ W杯（中国）	予選 SP/決勝 SSP
2019年6月8日-6月9日	ウァトルコ W杯（メキシコ）	SP
2019年7月13日-7月14日	ティサウイパローシュ W杯（ハンガリー）	予選 SP/決勝 SP
2019年9月7日-9月8日	パニョレス W杯（スペイン）	SP
2020年5月10日	成都・チエンドウ W杯（中国）	SP
ASTC アジアトライアスロンミックスリレー選手権		
2019年6月20日-6月23日	慶州（韓国）	SSP
2020年4月26日	廿日市（日本）	SSP
JTU 主催大会：JTU 男子ミックスリレー特別大会（2020）		
2020年2月01日	宮崎（日本）	SSP
2020年4月12日	宮崎（日本）	SSP

* スタンダードディスタンス（STD）、スプリントディスタンス（SP）、スーパースプリントディスタンス（SSP）